

令和2年9月25日

白河市教育委員会

9月定例会会議録

令和2年9月白河市教育委員会定例会会議録

日 時 令和2年9月25日(金)
開 会 午後2時56分
閉 会 午後4時20分

場 所 白河市役所 全員協議会室

報告事項

- (1) 教育長報告
- (2) 各課所報告

○ 出席委員

教育長 芳賀 祐司 1番委員 金子 英昭 2番委員 北條 睦子
3番委員 沼田 鮎美 4番委員 瀧澤 学

○ 出席説明員

理事兼教育次長 水野谷 茂 教育総務課長 田崎 修二
学校教育課長 加藤 正行 生涯学習スポーツ課長 遠藤 英喜
中央公民館長 根本 純子 図書館長 田中 伸哉
健康給食推進室長 小針 博之
学校教育課学校統合準備室長 和知 秀年
学校教育課主幹兼課長補佐兼指導係長 稲川 竜寿

○ 書記

教育総務課課長補佐兼総務係長 高久 忠雄 教育総務課副主査 小針 拓也

○ 傍聴人 なし

【午後 2 時 55 分開会】

○教育長

これより令和 2 年白河市教育委員会 9 月定例会を開会いたします。それでは、ただちに本日の会議を開きます。

日程第 2 会期の決定

○教育長

これより日程に入ります。日程第 2、会期の決定ですが、白河市教育委員会会議規則第 4 条の規定により、本日 1 日間といたします。

日程第 3 書記の指名

○教育長

次に日程第 3、書記の指名を行います。書記には教育長において、高久教育総務課課長補佐、小針教育総務課副主査を指名します。

日程第 4 教育長報告

○教育長

次に、日程第 4、教育長報告に入ります。

それでは、私から 2 点報告いたします。まず 1 点目です。小中学校では 2 学期がスタートし 1 ヶ月が過ぎたところですが、各学校では新型コロナウイルス感染症対策を講じながら 1 学期に実施できなかった行事も含め、計画的に教育活動を実施しております。後ほど、担当より各学校の主な行事予定について説明がありますが、小学校では運動会をすべての学校で実施し、感染症予防として午前中で終了予定です。修学旅行もどの学校も実施する予定で、すでに終わった学校もありますが、小学校では会津若松方面が 13 校、日光方面が 2 校となっております。中学校は東北方面 3 校、山梨方面 4 校、新潟方面 1 校となっております。小学校の学習発表会は 2 学期に行事が集中してしまうことから、多くの学校で中止としておりますが、中学校ではすべての学校で文化祭を実施する予定であります。学校と P T A がよく相談し、規模を縮小したり、来賓や参観者を制限したりしながらも、できるだけ子どもたちの楽しみにしている行事ができるよう工夫して取り組んでいるところです。今後も感染者数の動向に注視しつつ感染症防止対策をとりながら、教育活動が充実するよう支援していきたいと思っております。

2 点目ですが、本市では研究校として白河一小、白河二小、白河三小、中央中、白河二中の 5 つの学校を指定し隔年で授業を公開しておりますが、本年度も教師の指導力を高める授業研究公開を白河二小、白河三小、みさか小、白河二中で行います。なお、みさか小は県指定の研究公開で、白河二中は市指定と県指定の研究公開です。このことも後で担当

より説明がありますが、「教育は人なり」と言われるように、教育の成果はとりわけ教師の資質能力によるところが大きいです。ですから、自分の授業を参観してもらい批正を受け、授業を改善することは教師にとってとても重要です。また、参観者も他人の授業を見ることで自分の授業を振り返ることができます。研究の成果を市内の学校に広めて行きたいと思えます。

なお、これらの学校以外に、県の指定を受け小田川小は道徳教育推進校として県南地区の教員に研究授業を提供し、大信中は防災教育推進校として公開はしませんでした。授業を行いその様子をマスコミに報道されたところです。また、市内の他の学校は研究公開は行っておりませんが、各学校とも研究課題を設定し、指導主事に授業を見てもらい助言を受けるなどの校内研修会を実施しております。以上です。

日程第5 各課所報告

○教育長

次に日程第5、「各課所報告」に入ります。

各課所の取り組みや課題など、説明が必要と思われる事案についてご報告いただきますが、報告事項のうち、「令和2年10月1日付け白河市教育委員会職員人事異動について」及び「五箇中学校統合について」は、人事案件及び意思形成過程の案件でありますので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により、非公開とすることにご異議ございませんか。

(異議なしの声あり)

○教育長

ご異議なしと認めます。よって、「令和2年10月1日付け白河市教育委員会職員人事異動について」及び「五箇中学校統合について」は、後ほど報告いただくことといたします。

それでは、まずは教育総務課より補足事項を報告願います。教育総務課長、お願いします。

(教育総務課長より報告)

次に、「令和2年度白河市小学校・中学校学校行事予定について」、学校教育課よりご報告をお願いします。

(学校教育課長より報告)

次に、「復興ありがとうホストタウンの決定について」、生涯学習スポーツ課よりご報告をお願いします。

(生涯学習スポーツ課長より報告)

○教育長

これより一般質問に入ります。ただいまの各課所報告並びに本市の教育行政一般に関し、ご質問をお受けいたします。

○瀧澤委員

先程、教育総務課長より説明のありました補足事項にありました、9月16日に行われた大屋小学校での移動図書館についてですが、55人の参加者数は多いなと感じました。信夫一小よりも小さい学校なので55人もいるのかなと少し疑問に思いました。

○図書館長

時間帯や学校の取り組み方によって人数は増減します。大屋小学校は学校の規模は小さいですが、小さい学校であればみんな行ってきなさいと指導が行き渡りやすいという面もあります。そういったことの方が学校の大小よりも数字に表れているように思います。

○瀧澤委員

規模的には信夫二小と変わらないぐらいなので、信夫二小の参加者15人の4倍近くの55人は参加者としては多いですね。

○沼田委員

2点お話をさせていただきます。まず、各課所報告の資料13ページ、表郷公民館での9月26日開催予定のサイエンスショーについてですが、公民館事業には小学生対象の事業がないのかなと思った中で小学生を対象としたサイエンスショーがあることはとても良いと感じました。スポ少に入っている子はスポ少にかかりっきりですが、私の子はスポ少に入っていないので土日は暇そうにしています。高学年を対象としたサイエンスショーであると聞いておりますが、興味をそそられるようなサイエンスショーや、その他にも身体を動かしたり知識を深められたりする事業が少しずつでもあればと思いますので、今後お願いしたいと思います。

○中央公民館長

今年度につきましては、子どもたちのコロナ感染防止の観点からその他の公民館では開催を控えたのですが、感染拡大防止に配慮しつつ開催する予定です。

○沼田委員

2点目は、小学校・中学校学校行事予定についてですが、修学旅行、宿泊学習、運動会など、各学校が工夫をしながら行事を進められていることについては良いことであると思っておりますが、知人の保護者の話を聞きますと、中学校の修学旅行で、ある学校では一泊二日で、別の学校では二泊三日であるということが保護者の間で情報交換されています。そういう意味では、各学校の宿泊日数等について、ある程度足並みを揃えられる方が良いのではないかと思います。

○学校教育課長

今回の修学旅行につきましては、行き先や各地の感染状況をぎりぎりまで探るとともに保護者の方と相談しながら検討した結果、お示ししている内容となりましたが、ご意見いただいたことについては今後の課題としていきたいと思えます。

○金子委員

修学旅行については、今回は特別な状況なので一泊二日となった学校もあったと思いますが、コロナの状況が良くなった後はどの学校も同じ宿泊日数とした方が良いと考えています。

次に、令和2年度市指定研究公開等についてですが、行事報告資料の5ページに白河第二中学校の県「ふくしまの学校キラリ学力向上プロジェクト」タテ持ち推進校とありますが、タテ持ち推進校が分からない用語なのでどのような内容か教えてください。

○学校教育課長

「タテ持ち」という用語ですが、例えば教科担任の先生が1年生の1組から4組、5組までを担当することを「ヨコ持ち」といいます。一方、一人の先生が1年生、2年生、3年生等の複数の学年を担当することを「タテ持ち」といいます。担当する先生が教科の系統性をよく理解して、それぞれの学年で指導するという良さを学力向上に繋げていきたいという狙いがあります。可能な限りの教科で「タテ持ち」を実施する推進校として、白河二中が今年度県の指定を受けています。

○金子委員

「タテ持ち」という用語はどれくらい前から使われているのですか。

○学校教育課長

今年度で4年目であると記憶しています。

○金子委員

文部科学省でも使われているのでしょうか。

○学校教育課長

文部科学省では使われていないと思えます。

○金子委員

大きい学校では、4学級、5学級などあれば教員が担当する学年で時数がいっぱいになるので、それを1年生、2年生、3年生であったり、1年生と3年生などを担当したりすることで複数の学年を見通した指導ができることがメリットにあるということですね。

○教育長

補足いたしますと、福井県は学力が高いのですが、福井県の中学校では「タテ持ち」が普通に行われています。福島県では一人の先生が一つの学年をヨコに受け持つことが一般的ですが、タテに受け持って二人の先生が同じ学年を教えることになると、二人の先生が連携し合って教材を工夫したり、情報交換をしたりできる良さがあります。県の教育委員会でも「タテ持ち」を推奨しているところです。

○金子委員

みさか小学校は、教科担任・小学校英語教育推進校ということで研究公開を通して成果や課題が明らかになると思われませんが、いま教育委員会で把握している範囲でいいので、教科担任制や英語教育の実態等について教えてください。

○学校教育課長

教科担任制につきましては、加配教員を利用しながら実施しております。交換授業や少人数指導を選択して教科担任制を実施して、全国学力学習状況調査や市の学力調査の数値面で成果を上げております。英語教育につきましても、一人の教員が全ての学級を担当しており、専門性を活かして指導しております。英語教育は今年度で3年目となります。

○金子委員

教科担任制にしても、英語教育にしても、専門の先生がいるということが一番の条件だと思います。

もう1点お聞きします。復興ありがとうホストタウンに決定したことについて、新聞報道を見て良いことだと感じていたのですが、ホストタウンに決まるということは難しいものなのでしょうか。それとも、あまり苦勞なく決まったものなのでしょうか。

○生涯学習スポーツ課長

福島県のオリンピック・パラリンピック推進室や内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部を通してお願いしております。本来であれば、本市に関係者に来ていただき実際に合宿する場所等を見ていただいて、具体的に市の環境面を煮詰めた上で協定を結ぶところだったのですが、コロナの関係で海外渡航が難しくなってしまったこともあり、オンライン会議等を重ね、カタールオリンピック委員会とホストタウン交流への合意が得られたため、調整中ではありますが登録に至ったところです。協定についてはまだ結ばれていない状況です。県内の他の状況としては、檜葉町がギリシャ、二本松市がクウェート、伊達市がガイアナ共和国のホストタウンとしてそれぞれ選ばれています。

○金子委員

カタールフレンド基金より6億6千万円の資金援助をいただき復興のための事業が実現した経緯があるので、お世話になっている国ですよ。ホストタウン交流の内容を見ますと、事前合宿中の交流として陸上競技等を行う予定となっていて、コロナの影響はあるかと思いますが、せっかくオリンピック選手が来るのであれば高校生や一般の方も参加できないかなと思ったのですが、それは難しそうですか。

○生涯学習スポーツ課長

小中学生を対象に考えておりましたが、まだ具体的なことが決まっているわけではないので、今後検討していきたいと思います。

○金子委員

人数制限をするという報道もあり、困難な状況があるというのであればやむを得ないと思いますが、オリンピック選手を直に見られる機会はそうあるものではないので、検討していただければと思います。

○北條委員

大信公民館の報告事項について質問させていただきます。8月4日から26日までのロビー展「ガラスアート展」と9月4日から18日までのロビー展「カリグラフィー白河教室講師作品展」は期間が長いので、人数が他の行事に比べ突出しています。展覧会は来場者が多いのですか。

○中央公民館長

大信公民館のロビー展は、大信公民館の空きスペースで地域の方々に芸術作品を見ていただくようと数年前から行っているものです。毎回、約200人前後の来場者がありますが、9月の「カリグラフィー白河教室講師作品展」については、期間が短かったこともあり来場者が少なかったものであります。

○北條委員

毎年人気の展覧会はありますか。

○中央公民館長

毎年違う内容を組み入れいておりますので、毎年同じ内容のものがあるということではありません。その中で、興味が集まるものとそうでないものはあります。

○北條委員

会期について存じ上げませんでしたが、何かで周知はしているのでしょうか。

○中央公民館

ホームページと広報しらかわに掲載するとともに、公的機関では手作りのポスターを掲示しております。

○北條委員

もう一点は研究公開についてですが、私達も参観は可能でしょうか。

○学校教育課長

参観が可能かどうか確認しておりませんので、次回の定例会でお知らせするかご連絡差し上げたいと思います。

○瀧澤委員

行事報告資料の17ページ、図書館の行事報告の中でコロナのため中止となっているものが多いですが、方向性として次回以降も行事は中止となる可能性が高いですか。それとも、今は決まっていないとしてもこれから実施する方向で進めるのでしょうか。

○図書館長

コロナの状況を見ながら判断せざるを得ないと思います。ブックスタートというのは、1歳児検診のときに実施しているもので、かなり規模を縮小して事業を行っております。以前であれば子どもたちが集まった場で大きい声で絵本の読み聞かせをしていたのですが、現在は絵本を渡して終わりとなっています。また、「ちびっこおはなしのくに」では、マイクを使わずに演者と顔を見合わせてお話をします。マイクを使って大きい声で話すとなると雰囲気などが作りづらくなり子どもたちに伝えることが難しくなりますので、ある程度、密になることが可能にならないと実施が難しいと考えております。行事によって問題点がありますので、精査していきたいと思います。

○教育次長

補足になりますが、各課所報告の追加資料についてですが、小学校・中学校学校行事予定の中で中学校の修学旅行の行き先として山梨が多くあります。例年、東京方面に行ってディズニーリゾートをまわることが多かったのですが、今回は東京方面に行けないということで、各中学校で色々考えまして富士山が見られる山梨となりました。富士山を見に行くということについて、私はとても良いと思いました。富士山を見た後は、青木ヶ原樹海を見たり河口湖を見たりして自然に触れ合うことができます。他には、山梨には富士急ハイランドがありますので、帰りにまわることができます。東京ディズニーリゾートにはこれから先も行く機会が多いと思いますので、普段なかなか行くことができない山梨を行き先とすることは良いと思いました。

○瀧澤委員

先程、大信中の話も出ていましたが、確かに話を聞くと私も行きたいと思うぐらい良い行き先だと思います。東京ディズニーリゾートには親に連れて行ってもらったりできると思うのですが、山梨にはなかなか家族では行けないと思いますので良いと思います。

○教育次長

これを機会に各学校で考えて山梨のような修学旅行とすることも良いと思います。

○金子委員

校長先生からも大変良かったと聞いています。富士山の5合目までバスで登ってきた学校もあるようです。また、今まで修学旅行先となっていなかった山梨に行ったことでとて

も良い待遇を受けたと聞いています。一方、例えば社会科の先生には色々な視点があって、多くの人にとって一生に一度入る機会があるかないかと思われる国会議事堂に行ってみることで、生徒が後にテレビで国会中継を見たときにあの場所に行ってきたのだと心に残るのも良いのではないかと、先生によって考えがあるようですので色々な選択肢があって良いと思います。

○教育長

これを機に関東方面だけではなく、新たな場所を発掘できるかもしれません。また、栃木県を見て白河市に宿泊する学校もいくつかあるようです。先程の一泊二日と二泊三日の違いについてですが、各学校で行き先を決めるために7月下旬から8月上旬にかけて大変苦勞したものと思います。宿泊先の確保等の問題で二泊三日にしたかったところをやむを得ず一泊二日にせざるを得なかったところもあったのだと思います。ですが、子どもたちにとって修学旅行は一生の思い出ですので、中学校の校長先生がそれぞれ決断をして修学旅行を実施できたことについては良かったと感じています。

○教育長

他にございますか。よろしいですか。それでは、これにて一般質問を終了いたします。

日程第6 その他

○教育長

次に日程第6、その他に入ります。各課所の取り組みや課題などについてご意見・ご質問等がありましたらこの場で取り上げたいと思いますが、何かございますでしょうか。

○教育長

それでは、残りの報告事項について報告いただきたいと思いますので、これより非公開といたします。

(非公開)

○教育長

これにて、全ての日程が終了しましたので、以上で、白河市教育委員会9月定例会を閉会いたします。

【午後16時20分閉会】

以上の記録が正確なことを認め、ここに署名する。

令和2年10月22日

教 育 長

1 番 委 員

2 番 委 員

3 番 委 員

4 番 委 員